

「出前講座」と講習会場への回収ボックス設置による使用済小型家電回収量アップへの取り組み

環境科学課 荒巻 裕二・徳田 三郎・財津 修一・佐野 由紀子

第 42 回全国都市清掃研究・事例発表会

福岡市では、市内約 60 か所で回収ボックスによる使用済小型家電の回収を行っている。本市では、市の取り組みや暮らしに役立つ情報などを説明する「出前講座」を開催しているが、その一つとして使用済小型家電のリサイクルに関する講座を開催している。その講座開催と合わせて、受講者のリサイクル行動の定着を図るために開催場所である公民館に回収ボックスを設置し、使用済小型家電の回収を行った。

期間限定で回収ボックスを設置した公民館では、設置日数が長いほど回収量が多い傾向にあった。最も回収量が多かった公民館では、設置日数が最も長かっただけでなく、1 月あたりに換算した回収量においても多かった。その理由は、講座への参加人数が多かったことや参加者を通じて家族への啓発につながったこと等が考えられた。

また、常設の回収ボックスを設置していた公民館では、講座を開催した日以降に回収量が大きく増加していた。このことは、講座で周知啓発を行った効果と考えられた。